

令和5年度第1回学校運営協議会議事録

日時 令和5年5月31日

時間 15:45~17:00

(出席者 敬称略)

【委員】

- 内川 隆 (本校同窓会長)
- 大石 進 (桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部客員教授)
- 鈴木 秀幸 (青葉区市ケ尾町在住、大場町自治会)
- 藤岡 歩 (あおば支援学校長)
- 田中 俊穂 (本校校長)
- (欠席者)
- 飯島 正徳 (東京都市大学理工学部自然科学科教授)
- 佐藤やよい (横浜市青葉区こども家庭支援課学校連携・こども担当課長)
- 佐々木得人 (本校PTA会長)
- 竹下 恭子 (横浜市立市ケ尾中学校長)

【事務局】

- 河合 義昭 (本校副校長)
- 新垣 学 (同 教頭)
- 齊通 勇 (同 事務長)
- 大矢 真 (同 学校運営協議会担当)
- 松永 憲一 (同 学校運営協議会担当)
- 齋藤久美子 (同 学校運営協議会担当)

【本校各グループリーダー】

- 吉行 伸 (同 カリキュラム開発グループリーダー)
- 本屋敷隆裕 (本校 キャリア支援グループリーダー)
- 吉居 英明 (同 生徒会支援グループリーダー)
- 杉本 綾 (同 生徒指導グループリーダー)
- 木村 秀樹 (同 管理運営グループリーダー)
- 中村 洋行 (同 地域連携・広報グループリーダー)

## 1 校長挨拶

## 2 委員紹介

## 3 本校関係職員紹介

## 4 会長挨拶

会長：鈴木委員

## 5 報告事項《○委員、●学校》

### (1) 令和5年度学校運営協議会について

●本年度の委員ならびに校内関係者は先ほど紹介した通りである。部会は学校評価部会と地域協働部会の二つある。本年度の学校運営協議会の日程は資料の通りである。

### (2) 学校からの報告について

●第50回となった入学式は参加制限をせず、マスクの着用は個人の判断により、無事に行うことができた。

●遠足については4月20日に3学年とも開催した。1年生についてはカレー作りを行い、親睦を深めることができた2年生は上野・浅草方面へ修学旅行の練習も兼ねて現地集合・班別自主行動を行った。修学旅行は9月26日より3泊4日、徳島県で農業体験をしたのち、大阪USJへ行く予定。

●芸術鑑賞会では相模女子大学グリーンホールにて劇団銅鑼による「いのちの花」を鑑賞した。農業高校が舞台で、命をいただく、命をつなぐというテーマの物語を、非常にマナーよく鑑賞した。

●体育祭については、新型コロナウイルス感染症が5類となったが、グラウンドにプレハブが建っているため、3年生の生徒1名につき保護者1名のみ公開する制限を施した上で開催する予定である。

●令和4年度の進路実績については、昨年度同様国公立大学への進学者が21人となっている。就職者は1名である。また令和4年度の横浜市立大学の合格者数は5名から7名と実績を伸ばし、筑波大学に2名合格した。指定校推薦含めて「MARCH（明治、青山学院、立教、中央、法政）」への進学が中心となっている。

●学校広報については、資料記載の通りに行う予定である。6月17日の全公立展は4年

ぶりの開催となる。各高校がブースを作り、広報活動を行う。

●部活動の実績については、ダンス部が東日本大会 3 位、野球部は昨年度に引き続き春季大会ベスト 16 となった。県立高校としては素晴らしい成績である。女子フットサル部も U-17CUP で優勝した。陸上部は女子 100m リレー、400m リレー、三段跳び、男子個人 800 m が関東大会に出場した。ダンス部は J リーグ 30 周年記念試合にて国立競技場でパフォーマンスを披露しており、バトン部、軽音楽部、女子フットサル部とともに RADWINPS と共演した。

○ダンス部の J リーグでの活躍は招待、オーディションなど、どのような経緯でされるものなのか。

●青葉区地域イベントの出場で J リーグの関係者の目に留まり、声をかけていただいた。ジャグリング部も地域イベントを見て警察署から依頼があったり、地域のイベントに参加することで声をかけていただく機会がある。

### (3) 学校目標等について

●4年間の目標は令和2年度に策定したものであり、その4年目にあたる。取組の内容において「総合的な探究の時間」が何度か出てくる。本校は「総合的な探究の時間」の研究指定校の3年間を終えたのち、令和4年度から3年間引き続き研究指定校となった。

### (4) その他 【質疑応答、意見】

○教員は休んで、生徒も家庭も大事にしてもらいたい。家庭が平穏だと学校でも平穏だと思う。元気のよい学校をさらに伸ばしていただきたい。

●校長が着任時の挨拶でも生徒の健康も教員の健康も大事と言っていた。

○ダンス部が取材を受けている NHK の番組を見た。この環境で本当によく頑張っていると思う。部活動の中で熱中症になり、大変な思いをしているご家族もいるので、熱中症に注意してほしい。本校との連携もお願いしたい。ジャグリング部は以前も来校してもらっている。

●今年度についても、ジャグリング部と合唱部で検討中である。

○大場町は3年間新型コロナウイルスで盆踊りができない代わりにイベントを行っており、ダンス部、バトン部、ジャグリング部に参加してもらった。人に見てもらえる発表の場があると人は伸びるので、いろいろな形でいろいろな部活と交流したい。

●やりたい声を実現すると教員の負担もかかる場合がある。市ヶ尾高校は県下で一番生徒数・教員数が多い。部活動参加率も 84% と盛んであり、スケールメリットもあるが、デメリットもある。生徒のために頑張っていきたい。

- 部活動の指導ボランティアは無理なのか。
- 指導と責任はパッケージとなっている。外部指導者として顧問と体制がしっかりした上で指導してもらっている部活動もある。OB が来てくれることもある。
- バス経路ができたが、利用状況はいかがか。
- 7：57 と 8：25 の 2 便運行している。雨だと利用が増える。状況について、東急バスからのアンケートを実施した。

## 6 その他